

多摩地域に対する都政の取り組みに関する要望

平素より市町村の行財政運営について、格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。さて、多摩地域の市町村においては、昨今の原油を初めとする原材料高を反映して景況感が悪化しているなか、三位一体改革においても、十分な税源移譲がなされないままの国庫補助負担率の引き下げや東京都の事務事業の見直しなど、総じて厳しい状況が依然として続いております。こうした状況下、各市町村は、行財政改革等による経費削減に努めつつ、住民に最も身近な自治体として、高齢者や障害者等の福祉の充実、子育て環境の充実、国民健康保険会計や後期高齢者医療広域連合への負担、都市基盤の整備、ごみ減量・資源リサイクル化等の環境対策、防災や治安対策など、暮らしに直結する喫緊な課題に真摯に取り組んでおりますが、その財政負担の増大に苦慮しております。

このような多摩各市町村の置かれた状況を十分ご賢察のうえ、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

一 平成二十一年度予算編成について

多摩振興をより実効性のあるものとするため、予算編成にあたっては、特段の財政的な措置を講じられたい。

- (一) 十年後の東京の実現にあたっては、二十一年度予算は、三年間の計画の中間の重要な年となるため、多摩リーディングプロジェクトと同様に、予算措置や進捗状況を各市町村に情報提供の上実施すること。
- (二) 市町村の行政水準を維持し、事務事業の見直し等により年々厳しさを増している市町村財政を補完するため、市町村総合交付金は、極めて重要である。交付金総額のさらなる増額など一層の改善を図るとともに、配分にあたっては、市町村の自主性、特殊性を尊重し、交付総額の急激な変化をきたすことのないよう配慮すること。
- (三) 多摩の持続的発展のため、立ち遅れている南北幹線道路の整備をはじめ、JRや各私鉄沿線の鉄道連続立体交差事業を促進し、また、未計画路線の調査・検討を進めるなど、基盤整備を積極的に推進すること。
- (四) ごみ減量・資源リサイクル化を推進し、循環型社会を構築するため、拡大生産者責任を明確にするとともに、一層の人的・技術的・財政的支援策を講じること。また、地球温暖化防止対策として温室効果ガス削減のための新エネルギー体制への転換など、各市町村において、地域における省エネルギー施策の充実が図れるよう財政的支援の強化を図ること。
- (五) 福祉施策を推進するため、子育て環境の充実については、市町村が行う各種施策について、子育て支援交付金等の財政措置等、積極的な支援策を講じること。特に、乳幼児医療費助成及び義務教育就学児医療費助成の所得制限を撤廃するとともに、補助率の引き上げを検討されたい。なお、今後本人負担割合の引き下げ

を行う場合には、市町村財政に影響を及ぼさないように実施すること。また、長寿医療制度（後期高齢者医療制度）については、所得の低い後期高齢者の負担増とならないよう財政支援を行うこと。

二 防災事業の充実と財政措置の確立について

公共施設の耐震化は、大地震の安全性の確保に不可欠である。特に小中学校は、被災時の児童生徒の安全確保とともに、避難所としての役割を担っている。補助率の増が決定されたが、引き続き市町村の耐震改修が進むよう財政措置を確立されたい。また、被害軽減に向けた予防的事業を積極的に支援されたい。

三 「東京多摩国体」を契機とした多摩地域の発展支援について

平成二十五年に多摩地域を中心に開催される「東京多摩国体」は、多摩地域の市民や団体、市町村が一体となって計画、準備などに取り組むことにより、多摩地域の一体感の醸成やアイデンティティの確立などが期待されている。競技施設整備等については、平成二十年度に都の補助制度が創設されることとなったが、国体開催に向けて機運を盛り上げるために各市町村や関係団体等が連携して行う事前事業等に係る経費についても財政支援を講じられたい。

四 産科・小児科・麻酔科医師及び看護師確保、小児医療の確保について

(一) 医療安全の確保をはじめ、良質な医療サービスの提供には、医師及び看護師の安定した配置が不可欠である。多摩地域の市町村公立病院などにおける産科・小児科・麻酔科等の医師の確保について、都からの派遣を検討するなど特段の措置を講じること。また、看護師の定員確保のため、都立看護専門学校の新設増を図りたい。更に、定着対策及び免許を有する未就業者の就業を促進するため、施策の充実・強化を図りたい。

(二) 小児医療の後退は、子どもを安心して育てるうえで、住民に不安を与える。地域における適切な小児医療体制の確保のため、小児病院の移転統合の影響がないよう対策を講じること。

平成二十年七月二十八日

東京都市長会会長

八王子市長 黒 須 隆 一

東京都知事 石原 慎太郎 殿